

元気な川崎！いきいき川崎区！

市政だより

2021  
新春号

川崎市議会議員

林としお

2021年1月吉日

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられたことと存じます。

昨年を振り返ってみますと、全世界に被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症が我が国の社会・経済に甚大な影響を及ぼしました。川崎市議会では、通常の定例議会に加え、改選時を除き10年ぶりとなる臨時会を4月と5月に開催し、重要な案件について様々な議論をしてきました。一昨年川崎市にも甚大な被害をもたらした「令和元年東日本台風災害対応検証報告書」の議論や、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染症対策や学校休校に伴う対応・医療従事者への支援・小規模事業者への支援・特別定額給付金事業。12月議会においても、医療現場への更なる支援、中小企業等への事業継続支援、「新たな生活様式」に対応したデジタル化への対応など、市民の皆様の安心・安全に向けて多くの諸課題に対応してきました。

新型コロナウイルス感染症については、未だに収束の兆しが見えず、市民生活に大きな影響を与え、厳しい経済状況が続くことが想定されますが、引き続き、感染症対策を進めながら経済危機からの回復に向けた市民・事業者の支援等に議会でも取り組んで参ります。

私は、市民・働く者の立場に立って、「子供からお年寄りの皆さんまで誰もが安心して安全に暮らせる街づくり」に向けて、市議会の役割・責務の十分な認識のもとに、総合的な視点にたって誠心誠意取り組んでいく所存です。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして、幸多き年になります事を心よりご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 令和2年第6回市議会定例会を終えて

「令和2年第6回川崎市議会定例会」が11月24日から開催され12月17日に閉会となりました。

みらい川崎市議会議員団では、代表質問を12月4日に行い、「大規模投資的事業について」「新型コロナウイルス感染症に係る医療供給体制について」「コロナ禍における避難所の考え方について」などをはじめ、市政一般や提出された議案について質問しました。

また、今定例会に提出された「令和2年度川崎市一般会計補正予算」や「ふじみ園及び川崎市南部身体障害者福祉会館の指定管理者の指定」など、54件の議案について審議の結果、全議案とも原案通り可決・決定をし、「不妊治療への保険適用の拡大及び助成制度の拡充を求める意見書」などの意見書案についても可決・決定をしました。

市議会報告として、会派代表質問トピックスならびに、林敏夫が12月15日に行いました一般質問の概要などを報告させていただきます。

## 〈会派代表質問 トピックス〉

### ■ 市政だよりの配布について

**質問** 町内会・自治会は、あらゆる地域活動に協力、貢献していますが、市民文化費における住民組織等補助金は1800万円程度と、他都市と比較しても十分とはいえません。横浜市では、町内会・自治会の活性化に向けた取組として地域活動推進事業費という補助制度を実施しています。そこで、選択制導入を機に、本市でも同様の検討ができないのかかがあります。

**回答** (市民文化局長) 今般の新型コロナウイルス感染拡大により、対面での会合等の制限や、地域交流の減少、市政だよりの配布方法変更に伴う配布謝礼金の減少など、各町内会・自治会において、様々な影響や不安が生じていることは認識しております。関係局と連携した各区の町内会連合会の会合等での説明の場においても、ご意見をいただいているところであります。新たな補助制度の創設につきましては、既存の補助金等との整理や、町内会・自治会における事務負担などの課題があります。しかしながら、町内会・自治会は、大切な協働のパートナーでありますことから、その不安等を払拭できる様々な支援について、他都市も参考にしながら、関係局区と連携し検討を進めてまいります。



### ■ 新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制について

**質問** 第3波の拡大に伴い、市民からは医療提供体制について不安の声が寄せられています。事前のヒアリング調査によると、直近の確保病床数については、「神奈川モデル」の下、高度医療機関等15病院263床とのこと。医療従事者の確保が必要なことから、確保病床数の全てが稼働できる訳ではないとのことですが、川崎市内における確保病床数および稼働病床数についてうかがいます。また、今後、重症者・中等症者が拡大した場合の病床数および医療従事者の確保については、神奈川県および市内医療機関とどのように調整を図っているのかかがあります。

**回答** (健康福祉局長) 神奈川モデルにおいて市内で確保している準備病床数は、陽性重症者用30床・陽性中等症者用150床の合計180床ありまして、即時受け入れ可能な即応病床については、これまでも入院需要に応じて、地域医療との均衡を図りながら増減させるとともに、広域的に運用しているところであります。この度の、11月の県による「医療アラート」の発動を受け、本市としましても、速やかに市内医療機関に即応病床の拡大を要請し、医療機関の御協力のもと、アラート発動前の約70床から約120床に増床したところであります。このほか、疑似症患者用としまして、83床確保・稼働しています。今後についても、市内感染状況や病床の利用状況などをモニタリングしながら、県及び医療機関と密接に連携して必要な病床の確保に努めてまいります。

## ■ コロナ禍における避難所について

**質問** 11月8日に開催された川崎市総合防災訓練では、コロナ禍の風水害時を想定した指定緊急避難場所開設・運営訓練が開催されました。訓練実施により見出した課題と改善点についてうかがいます。

**回答** (危機管理監) 今回の訓練の課題としては、避難者同士の飛沫感染防止のための仕切りが必要であり、椅子や机の配置、備蓄倉庫にある物資の有効活用の検討、ペット同行時の受入れ場所の確保や対応では、ペット数や種類などに応じた運営の必要性、また感染防護服の運用では、手袋やポンチョなどの着用時間への配慮など、改善すべき項目の確認ができましたので、今後の更なる検討とともに、マニュアルに基づく避難所運営への関係者の理解が重要と考えています。

**質問** 避難所運営にあたり、感染症対策に必要とする備蓄物資については、令和2年10月現在、その多くが「予定」または「購入予定」となっており、配備の遅れが指摘されています。今後の配備予定についてうかがいます。

**回答** (危機管理監) 「配備予定」としていました施設用消毒液、ニトリル手袋、ハンドソープ及びフェイスシールドにつきましては、各避難所への配備が完了しています。また、ペーパータオルにつきましては12月中旬に配備が完了するほか、清掃用タオル、テント、簡易ベッドについては、11月から順次配備されておりまして、来年1月中には各避難所に配備が完了する予定となっています。今後の予定としましては、既に配備されています非接触型体温計、マスクについて、区役所との協議を踏まえ追加購入の準備を進めているところであります。



## 〈一般質問要旨〉

### ■ 浸水対策重点化地区の取組について

**質問** 重点化地区である「京町・渡田地区」においては、昨年、既存施設のさらなる活用を可能とする導水管整備の詳細設計を発注しており、令和2年度の取組といたしましては、「京町・渡田地区の導水管の整備に着手する」としていました。現在の取組状況についてうかがいます。

**回答** (上下水道事業管理者) 重点化地区における浸水対策といたしましては、整備水準を10年確率降雨、時間雨量58ミリへグレードアップするとともに、既往最大降雨である時間雨量92ミリに対しても床上浸水とならないことを、目標としているところであります。

京町・渡田地区におきましては、JR南武支線の小田栄駅南側に位置する小田3丁目、過去10年間の浸水実績が特に集中しており、早期の対策が求められているところであります。こうしたことから、当該区域の導水管整備を先行的に進めることとし、現在、工事の実施設計を進めているところでありまして、来年2月には工事受注者が決定する見込みとなっています。



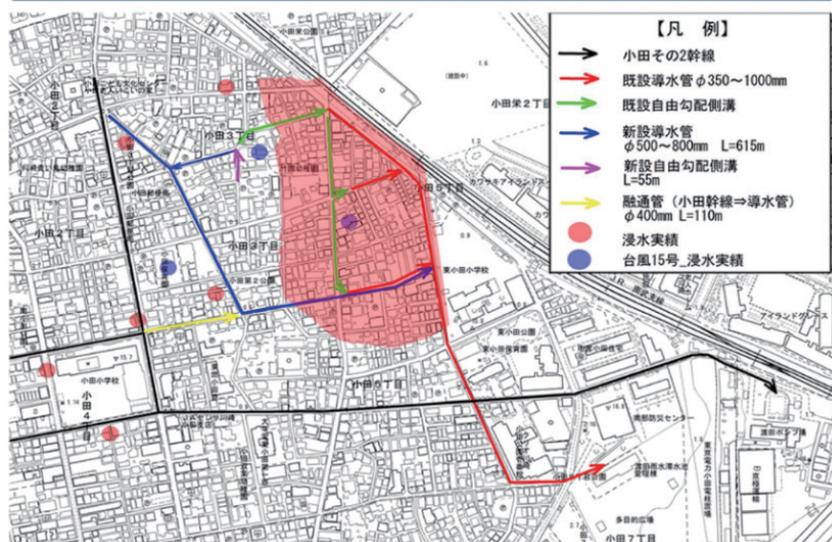
**質問** 浸水対策工事の手法や工事場所について具体的にうかがいます。また、今後の整備スケジュールについてもうかがいます。

**回答** (上下水道事業管理者) 浸水対策の具体的な手法としましては、浸水実績が集中している小田3丁目地内の上流部から流れてくる雨水を、新たに整備する導水管により、下流部へバイパスさせ、雨水を地表に溢水させないようにするものであります。

工事場所としましては、東小田小学校から小田第2公園を経て小田交番にかけた路線を中心に行うものであります。

整備スケジュールとしては、導水管やそれに接続する側溝などの整備を、令和4年度末までに完了させる予定であります。

京町・渡田地区導水管概要



**質問** 具体的に工事を行う小田3丁目では、具体的に工事の説明会等の開催など、丁寧な対応が求められます。対応についていかがいます

**回答** (上下水道事業管理者) 当該区域は、狭い道路が多く、東小田小学校をはじめ、幼稚園や保育園などの施設があり、工事の施工にあたっては、安全確保を第一優先に進める必要があります。こうしたことを踏まえ、施工時期や作業帯などについて、小学校や関係機関などと調整を図るとともに、町内会への周知や、工事周辺地域の方々へお知らせを配布するなど、丁寧な対応に努めてまいります。さらに、重点化地区の対策を進めていく上で、地域住民の方々へ工事の目的や内容について、ご理解をいただくことは重要であると考えていますので、ウェブサイトなども活用し、事業の進捗がわかるように取り組んでまいります。

**要望** 小田地区にお住まいの方々にとっては、長年の課題であります。計画通り進めていただくことを強く要望します。

## ■ 消防局の水害対策用資器材について

**質問** 令和元年東日本台風の災害対応状況や、救助用ボートの活用状況を踏まえ、消防局としてその後の総括議論を行い、今年度具体的な水害対策資器材の導入を図ってきていると仄聞します。今年度の具体的な対応についていかがいます。

**回答** (消防局長) 令和元年東日本台風では、市域で大規模な浸水被害が発生し水害対応の困難性を痛感したところであります。水害対策用資器材については、救助ボート等の活用状況を踏まえ、中原消防署、高津消防署及び多摩消防署に各2艇を先行して配置したところであり、今年度中に、これら6艇を含め、合計24艇の救助ボート及びドライブーツ等の必要資器材を各消防署に配備する予定であります。

**質問** 今後の水害被害に対する訓練が課題となります。他都市の事例も参考にしながら、水害対策の訓練施設を市内に整備する議論も行う必要があると考えますが消防局における水害対策訓練の対応状況についていかがいます。

**回答** (消防局長) 水害対策訓練については、川崎市消防訓練センターのほか、大師河原河川防災ステーション等において、各消防署で訓練を実施しています。また、今年度から使用可能となった神奈川県消防学校災害救助訓練場、通称「ディザスターシティ」の浸水域対応施設において、水難救助隊が市街地等での浸水被害を想定した訓練を実施したところであります。

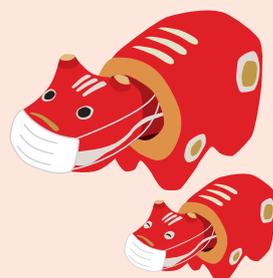
**要望** 令和2年8月の各消防団への水害対策用ボートの導入に加え、今年度新たに救助ボート24艇を各消防署や出張所に順次配備するとのことです。近年の自然災害とりわけ水害被害への対応強化は本市としても大きな課題であります。引き続き、消防力強化に向けた取組を要望します。



## 『市政を語る新春の集い』の中止のお知らせ

日頃より林としおの活動に対しまして、ご支援・ご指導いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

例年2月に開催を予定しています「市政を語る新春の集い」につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、皆様のご健康と安全を最優先に考慮した結果、中止という判断をさせていただきました。何卒、ご理解のほどよろしくお願い致します。



## 林としお 事務所のご案内

連絡先：

〒210-0835 川崎区追分町6-2 エステート森101  
TEL. 044-223-6625 / FAX. 044-223-6635

【電話連絡は平日の火・木・金の11時～17時30分。  
留守の際は、留守番電話にご伝言をお願いします。】

### 【プロフィール】

- 1964年 1月28日生まれ
- 1982年 旧日本鋼管(NKK) 京浜製鉄所入社
- 2014年 JFEスチール東日本製鉄所(京浜地区) 総務部
- 2015年 川崎市議会議員初当選
- 2019年 川崎市議会議員2期目当選
- 2020年度 ●環境委員会 委員長  
●大都市税財政制度調査特別委員会